



Quarterly
[出羽庄内国際交流
財団会報]
季刊誌

ラフォーア市より鶴岡市に友好のしるしにと
出羽庄内国際村に建てられた「カズ」の贈呈式

Vol.19

出羽庄内国際村

「 DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM 」

- 特集「外交クラブ in 庄内」 ②
- アマゾン民族館紹介ほか ④
- レポート出羽庄内国際村 ⑤
- インフォメーション ⑦
- 98出羽庄内国際村の1年 ⑧



外交クラブin庄内が10月17日に出羽庄内国際村を会場に、庄内地域の国際交流関係者等五十数名が参加し開催されました。この催しは、外務省が、地域の基盤に立った草の根レベルの国際化・国際理解の推進を支援しようと全国各地で開催しているもので、外務省、山形県、鶴岡市の共催のもとに本財団が主催したものです。

当日は、堀江ご夫妻らによるてい談と地元関係者らによるパネルディスカッションが行われましたが、各講師の発言要旨についてご紹介します。

外交クラブin庄内

多文化時代と国際交流・庄内からの発信

「国際化が進展する中で日本のここがわからない」から

てい談

「国際化が進展する中で日本のここがわからない」から

立場を理解し、まさに、ひとり人間として対等に意志の疎通を図ることができる、このことに尽きると思います。

東京学芸大学留学生センター教授

堀江プリヤー氏

私が日本にきて、一番驚いたことは、「日本人の考え方や行動は常に正しい。だから、あなたがたも日本人と同じ価値観を持つべきだ。外国人と接する上で日本人は変わる必要はない。ここは日本だから、日本に来たら、日本人と同じようにやらなければならない。」等々の考え方です。すべての日本人がそのように考えているとは思いませんが、とても理解できない考え方です。

また、日本人は「内と外」の意識がとても強いと思います。真の国際化、国際人とは、そのような意識を払拭し、相手の

ヨーロッパの各国にしてもアメリカ、カナダにしても多くの文化背景を持った人々が一つの社会を形成している国では、互いにその存在を否定することなく、尊重しあい、そのかわり自分自身の存在も対等に主張するという基本的な合意ができていくと思えます。

(財)日本国際教育協会交流事業課長

堀江 学氏

また、私たちの社会を外に開こう、国際化しよう、多文化の状況にしようとする、それはちょうどリトマス試験紙みたい

なもので、私たちの社会、あるいは私たちの生き方が、果たして国際的に通用するものなのかどうか、外の世界から見ても、自分自身も、かというところが良くなるんじゃないかというのが、僕らの持論です。

いかと思えます。

そういう意味で、国際交流を通じて、私たち自身のいろいろな社会環境をもっともっとよくできるんじゃないかというのが、僕らの持論です。

外務省国内広報課企画官

三木達也氏

今日の話をまとめてみると、まず同じ価値観を人に押しつけることなく、やはりその違った価値観の人を認め合うことが大切だということ。また、外国人の目から見て、いろいろな問題点が出てくるという事は、我々日本人が気づかないところを鏡として見る、そして社会を改善していくための絶好の機会ととらえたらどうかという提案がありました。

更に、国際的に通用する人間ということになれば、あまり難しく考えず、一人の人間として

互に対等の立場で、相手の文化、社会背景を認め合い、その上で言葉の問題以上に、互いにコミュニケーションを図ることが出来るかどうかだと思います。そのためには、相手に関心をもち、自分が何者でどういう考えをもっているか表現し、相手に伝える努力をすることが必要です。そういう人間がたくさん育てば育つほど、地域の資産となるし、地域の活力にもつながっていくと思います。



パネルディスカッション
「庄内から考える
多文化時代における地域の国際交流」から

外務省国内広報課課長補佐
高濱 清氏



ベルリンの壁が崩壊し、冷戦が終わり、国際社会が急速に変わり、どういう方向に進むかわからない不透明な時代に入り、どの国もそれなり共通の悩みをもっています。日本もバブルがはじけて方向性というものがつかめていない、そういう模索の時代にあるわけです。

このような状況で、多文化共生時代、国際交流、国際貢献等いろいろな概念が飛び交っている「国際」というテーマ、これは日本人の21世紀における生き方、考え方のひとつの切り口として考えていく必要があると思います。私には思っているんですが、今日はそれらのことについて、皆さんと共に考えていきたいと思いません。

山形県産業技術短期大学校庄内校教育主幹
前田 直明氏



商社マンとして、通算数十年の駐在を含め、南米を中心に三、四十年海外との貿易に従事し、三年前に庄内にまいりました。

私が、海外勤務、海外生活体験から得たものは、まず日本がよく見えるようになったこと、物事を複眼的に見る事が出来るようになったこと、そしてそのことから自分の考え方を転換することが容易にできるようになったことかなあと思っています。

今、「国際経営科」の学生に教えていますが、「国際交流をどう発展させるか」「国際交流を何に、……その何がわからないんですか……、発展させるか」そんなことをテーマに学生と考えたい、そんなことをこの頃思っています。

庄内国際交流協会前事務局長
加藤 耕氏



第一回の庄内国際青年祭に参加して以来十四回になります。青年祭、国際交流の一番の魅力は、外国の皆さんと出会い、話をするによりいろいろな事に気づかされ、考えさせられ、自己改革、意識改革に大いに役立つことだと思えます。

また、今、藤島町で外国人配偶者の皆さんに日本語指導をしています。自分の考え方が違ふ事を必ずもっている、すべて同じではありえない。「異文化があることがあたり前」、それを受け入れるか、拒絶するかでその人とのつきあいが変わるわけです。

異文化を受け入れる心の広さ、多文化共生ということが、我々の心の中にひろがれば国際交流がもっとこの地域の中に浸透していくと思えます。

その中で、外国人配偶者の皆さんはじめ地域在住の外国人の方々とふれあう機会をもっともつと深めていただければありがたいと思えます。

山形県国際交流員
ユフエロバ・ポリナ氏



ロシア極東地域のハバロフスクの教育大学で日本語を専攻、卒業後すぐに「JETプログラム」(語学指導等を行う海外青年招致事業)の国際交流員として来日、現在、庄内支庁の地域振興課で仕事をしています。

庄内で生活し一年半近くになりますが、昨年の秋の日米草の根サミットをはじめいろいろな国際交流事業やボランティア活動が活発に行われ、この地域の「国際化」は、非常に進んでいると思えます。ただアジア圏以外の外国人を見るとすぐ「アメリカ人」と思い込む人が多いのはちょっとびっくりしました。

これからも、庄内のみなさんに「距離的には近くても、あまりよく知られていない遠い国・ロシア」のいろいろなことをど

山形県文化振興課・国際室
永寿祥 司氏



庄内支庁の勤務を経て、92年から外務省ロシア課で研修、94年から二年間在ハバロフスク日本領事館に勤務、対日理解促進、日本語教育支援等に従事し、帰国後現在の職場に勤務しています。

国際室の仕事は、一言で言えば、日本の国際化が進展している中で、県民のみなさんに国際化という時代の流れにいかに対応してもらうか、対応するための環境をどうつくっていくかということになると思えます。

現在、庄内地域は国際交流活動が活発に展開されており、国際協力の動きも活発だと思えます。これらの活動にもっと多くの人の参加の輪を広げるにはどうしたらいいのか、これからも問題意識をもって考えていきたいと思えます。

神秘のマヤ文明展開催を前にして

——3月13日(土)開幕——

アマゾン民族館館長 山口吉彦



チチェンイツァ遺跡・メキシコ

マヤの古代文明は、中米のグアテマラやメキシコ等の熱帯の密林の中で、紀元三百年から九百年頃まで古典期の隆盛の時代を迎えましたが、謎をはらんだ神秘の文明として知られていま

す。古代マヤ人は、車や牛馬の利用や鉄器の使用もなしに石器と人力だけで巨大な石造の神殿やピラミッドを建造しました。雨の神やジャガー神などの神殿が集合した祭祀センターからサクベという舗装道路で他の神殿や都市国家の間を結び、盛んに交易を営み、独特の文化や学芸を

発展させました。また、石彫、土器、土偶、絵画等、芸術の花を咲かせました。それに天文学、暦法、数学、測量術を驚く程、発達させました。裸眼での天文観測によって、太

陽、月、金星などの天体の運行を正確に計算し、コンピュータと比べても千分の一程度の誤差しかないと言われていました。マヤの子孫達は、今でも昔と同じ後帯機を使って色彩豊かな布を織りウイピルと呼ばれる貫頭衣にして身につけます。村ごとに、祭に応じて衣装の色や模様が異なっていて、伝統を今に伝えています。

私が初めてマヤの地に足を踏み入れたのは、今から三十年前で、密林に点在する遺跡を単身訪ね歩き、謎に満ちた古代文明にすっかり魅了されてしまいました。それから何度かマヤの遺跡や子孫の村に足を運び収集した資料を三月からの特別展で展示します。世紀末を飾る「神秘のマヤ文明展」を是非、御覧ください。



後帯機で布を織るマヤの女性・グアテマラ

ツク市から来ました、モニック・ミッシェル・スミスです。日本に来る前は小学校で教師をしていましたが、外国で何かを教えるということに興味を持ち、海外に行くことを考えました。そして姉妹都市であることからニューブランズウィック市が鶴岡市に英語教師を派遣していることを知り、それに応募しました。



こんにちは。アメリカ合衆国のニューブランズウィック市から来ました、モニック・ミッシェル・スミスです。

日本の学校に来て思ったのですが、日本とアメリカの生徒にはそれほど大きな違いはないようです。両国にも真面目に学ぶ生徒がいる一方でそうでない生徒もいます。ただ全体的にみると、日本の方が真剣に学習する生徒は多いように思います。日本の生徒の一部には、将来何になりたいとか、何をしたいとかいう考えが比較的早い時期に芽生えているようです。アメリカでも自分の将来に対する考えをはっきり持つ生徒はいますが日本の生徒ほど若いうちに気付き人はあまりいません。その辺が少し違うと思います。

私は鶴岡に去年の九月一日に来ましたが、ここは東京などと違って昔の文化が残る平和な街ですね。私は今まで会った人々から特に「勤勉さ」について学んだように思います。

将来、できればもつと他の国でも教鞭を取ってみたいと思っています。英語を話す国がいいですね。日本語とは日々奮闘中なんです！

庄内在住の外国人の方々を紹介します

ハロー 出羽庄内



レポート

1998.10
～
1998.12

出羽庄内国際村

Oct. ハロウィン



後に自分で作った様々な顔のランタンと一緒に記念撮影。

このランタンは鶴岡銀座通り商店街に二日間飾られ、ろうそくに火が灯されると、通りは幻想的な雰囲気になっていました。

Nov. 感謝祭

十一月二十三日に国際村ホールで、一年の収穫を喜ぶ「感謝祭」が行われ、三十人を超える外国人在住者と、四十人の日本人が参加しました。

日本民謡研究会の吉住好子さんによる大黒舞で幕を開けた感謝祭。今回は「ポトラックパーティー」ということで、皆さんに、料理を持ち寄って頂きました。集まった料理はほとんどが手作りで、日本ではまだあまり



十月二十四日、国際村ホールを会場におぼけカボチャのランタンづくりが開催されました。この企画はハロウィンの行事にちなんだもの。約四十人の子ども達がランタンづくりに挑戦しました。

九月下旬頃からおぼけカボチャの寄付を呼び掛けたところ、大きさ、形など様々なカボチャが国際村に集合。当日は英語指導助手の方など外国人の方々の参加もあつて、「本場のランタンづくり」を学ぶ子ども達の真剣な眼差しが見られました。最

知られていないものも多く見受けられました。

参加者達は、テーブルを賑わす国際色豊かな料理を囲んでの談話やゲーム、もちつき体験などを楽しみ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

フレンドシップサロン

毎月第一金曜日の夜にお茶を飲みながら気軽に国際交流を図る会、フレンドシップサロンの様子をご紹介します。

第四回目の十一月六日のテーマは「バン格拉デッシュ」。この日は山形大学農学部に留学しているご家族をゲストに開催されました。世界地図を開きながら、国の歴史、宗教、結婚、人々の暮らしなどについてお話いただきましたが、同じアジアの国なのに知らないことの連続に質問が飛び交っていました。

十二月四日は「世界のクリスマス」をテーマに開催。ガーナ、ブラジル、アメリカ、そして韓国から嫁いできた皆さんなどが参加しました。それぞれの国のクリスマススの過ごし方などが紹介されましたが、クリスマスプレゼントの消費が大変というなかなか聞けないお話も出されました。

Dec. サンタと撮影会

十二月五日、国際村一階ロビーで「サンタさんとの撮影会」がありました。赤と金色の飾りを付けた三メートルのツリーをバックに、九十五組百五十人の子供達が交代で、一足早くやってきたサンタクロースと一緒に写真を撮りました。写真を撮った子供達には、サンタさんからチョコレートとキャンディー入りの小袋が贈られました。



撮影会と並行して、二階和習室では、映画の上映会が行われました。

この日上映されたのは、「ジングルベル」「あかはなのトナカイ」などお馴染みのクリスマスソングを二匹のかわいいくまの進行で紹介するミュージックアニメーション映画「よいこのたのしいクリスマス」。次々と繰り広げられる楽しい映像は、どの子をも画面に釘付けにしていました。

Dec. クリスマスダンスパーティー

十二月十二日、国際村ホールを会場に、クリスマスチャリティーダンスパーティーが開催されました。

ダンスを通じて国際交流を楽しもうということで、山形県庄内支庁と本財団の共催で行なわれたものです。

初心者でも気軽に楽しんでもらえるように、当日はレッスンタイムも設けられました。

市内のダンス教室やサークルなど約二百人の方が参加し、生バンドの演奏をバックに、ワルツ、ブルース、ルンバにチャチャヤチャなど、みんな軽やかにステップを踏んでいました。

また、チケットの売り上げの半分は、NHK海外助け合いに寄付させていただきました。



Dec. リース作り講習会

十二月十三日、ハーブ研究所スパールの上林京子さんを講師に迎え、「ハーブのリース作り講習会」が行われました。

サフラワー、タンジー、オレガノ、シラベンダー、エバーラスティング…などのドライハーブを思い思いにリース台に飾り付け、さらにハーブから作られたエッセンスオイルで香りをプラス。最後に、クリアシートでラッピングして、クリスマスに合わせた赤と緑のリボンを結びました。作り始めてから一時間ほどで、直径二十センチぐらいの色とりどりのリースが出来上がりました。たくさんのおドラィハーブに囲まれ、会場は素敵な香りに包まれました。



また、それぞれの効能などハーブについての興味深いお話もあり、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

Dec. ワールドフェアミリークリスマスパーティー

庄内国際青年祭の実行委員のメンバーをはじめとするたくさんの方の協力を得て、十二月十九日「ワールドフェアミリークリスマスパーティー」が行われました。

今年のパーティーは、フィリップ・ロバートン交流員によるクリスマスソングで幕を開けました。イスとりゲームが始まると会場はさらに盛り上がり、激戦を見事に勝ち残った三名にはクリスマスプレゼントが渡されました。ミニ・コンサートではクリスマスソングをはじめ、子供たちへ「ポケモン」や「となりのトトロ」の演奏がプレゼントされました。閉会のセレモニーは高校生が中心になり、イエス・キリストの誕生をもとにア

レンジした演劇を発表しました。天使役の羽黒高校留学生のネイサン・ミラー君は、本番前は緊張した様子でしたが、長い日本語のセリフを間違えることなく名演技を披露しました。今年も楽しくクリスマスパーティーの夜は過ぎていきました。



ワールドクッキング （ロシア編）

庄内在住の外国人の方を講師に招いてお国料理を紹介してもらったワールドクッキングが、一月十九日に行われました。

今回はロシア編で、講師に県の国際交流員のユフェロヴァ・ポリーナさんを迎えて、「ボルシチ（ロシア風シチュー）」、「ゴルショチェック（つば焼き）」、



「ピーニングレット（サラダ）」、「トゥポロジニキ（チーズパンケーキ）」の四品を作りました。

「ボルシチ」はロシアの代表的な料理、赤ビートを使ったロシア風シチューのことで、その独特の赤い色に参加者の皆さんは少し驚いた様子でした。

会食ではロシア音楽を聞きながら、本場の味を楽しみました。



国際協力講演会

十月二十八日、社団法人山形県青年海外協力協会主催、庄内国際協力研究会共催の講演会が約四十名が参加し、出羽庄内国際村で開催されました。

講師は林野庁、国連食糧農業機構（FAO）、国際協力事業団（JICA）等で森林、林業



に関する国際協力の仕事に携わった前国際協力事業団専門員の渡辺桂氏です。

渡辺氏は、「大ヒマラヤの麓での森林保全」と題し、二度に亘りネパールに赴任し指導した林業プロジェクトについてスライド等使いながら講演。自らの体験に基づき、林業のみの振興はありえず、縦割り指導の弊害を克服し、道路、電気、飲料水等山村社会の緊急ニーズも並行して解決しながら、住民が自発的に力を発揮する「手間がかかり泥臭い協力」の必要性を語ってくれました。

「ルイズその旅立ち」
上映会&監督講演会



国内外の名画を紹介している「岩波ホール」の上映映画を鑑賞しようとして発足した「岩波ホールの映画を観る会」の初の上映会が十二月五日に国際村ホールで開催されました。当日は草の根の市民運動に生きた伊藤ルイ氏のドキュメンタリー映画の上映と、監督を務めた藤原智子氏の講演会が行われました。

会では、「このような会を継続してほしいとの多くの声をいただきました。この会が、すばらしい映画と各分野で活躍している方々の話を通じて、有意義な心の出合いの場を提供する機会になれば」と話しています。

友好のシンボル
「カズ」完成

鶴岡市の友好都市であるフランス領ニューカレドニアのラフ

オア市から、友好の記念に先住民の部族の儀礼の館「CASE（カズ）」が寄贈され、出羽庄内国際村に建てられました。

このカズは、アルフォンス・ポアウイさんら三部族の代表六名が十月に来鶴、一足先に大型コンテナで海路はるばる運ばれてきた現地の材料をもとに、早朝から日暮れまで一週間かけて建設したものです。その作成過程を写真でご紹介します。実物も、是非、ご覧ください。



インフォメーション
出羽庄内国際村
アマゾン民族館
1999.2 ~

「忘れられた子供たち
スカベンジャー」上映会

四年前から毎年「こどもとおとなのほんね・トーク」を開催している「かせいじんクラブ」では、アジア最大のスラムといわれるフィリピンのスモークーマウンテンで暮らす子供たちを描いた映画を上映します。
当日は、「地球のステージ」でおなじみの国際ボランティアセンター山形の桑山紀彦氏の講演会も予定されています。
日時 三月二十七日(土)

午前10時、午後7時
場所 鶴岡市中央公民館
参加費 一般1,000円
学生 500円
問合せ 出羽庄内国際村まで

中国倶楽部
会員募集

出羽庄内国際村を例会場に映画や料理等を通じて中国文化を楽しんでいる中国倶楽部では'99年度会員を募集しています。
例会は、原則月1回で中国映画のビデオ上映等を中心に活動しています。
年会費は、3,000円。
詳しくは出羽庄内国際村へ。

タイ「子供の村学園」への
物資提供のよびかけ

庄内国際交流協会では、10年前から高校生をタイの民間福祉財団へ派遣していますが、今年も3月21日から1週間の日程で訪問します。同協会では、学園の子供たちに贈る夏物衣料、文具・楽器・絵本を集めています。
また、同協会の活動と庄内国際青年祭の写真が掲載されている恒例のカレンダーが製作されました。
いずれも問合せ先は、出羽庄内国際村です。

国際村で外国語を
楽しく学ぼう

出羽庄内国際村では、英語、中国語、フランス語、ロシア語の語学講座を開講しています。各講座は単に語学を学ぶだけでなく、その国の文化なども併せて紹介するなどより親しみやすいものになっています。
英語、中国語は各5コースで対象は小学生から一般まで、他は各1コースです。一日体験受講も受け付けています。開講日時、受講料等詳しいことは気軽にお尋ねください。

出羽庄内国際村の休館日

2月15日(月)、3月15日(月)
4月19日(月)
アマゾン民族館は、右記のほか、2月15日(月)〜28日(月)の間、休館となります。

あなたも賛助会員に!

財団の活動主旨に賛同され、事業運営にご支援いただける会員を募集しています。

- 年会費 一般 3,000円
- 高校、大学生 2,000円
- 小、中学生 1,000円
- 法人 30,000円

会員の方には、財団機関誌等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料の割引などの特典もあります。

'98出羽庄内国際村の1年

地域における国際交流の拠点として、開設以来5年目を迎えた出羽庄内国際村では、国際交流や国際理解を中心とした様々な催しが開催されました。

今回は、昨年1年間に開催された数多くの事業の中から主なものを紹介します。



国際村交流会 フレンドシップサロン

- 1月12日 ニューカレドニア・ロラン先生日本語研修(～2/11)
- 18日 出羽庄内国際村祭「日本のお正月」
- 30日 ラマダーンフェスティバル
中国河北省大地震(1/10発生)義援金受付(～3/31)
- 2月8日 地球っ子クラブ「アフリカ体験」
- 14日 出羽庄内国際村祭「中国のお正月」餃子教室
- 15日 出羽庄内国際村祭「中国のお正月」
- 17日 カクラバ・ロビ コンサート
- 18日 カクラバ・ロビ ワークショップ
- 28日 庄内国際協力研究会例会「アンデスからの風」
- 3月1日 アマゾン民族館「総合案内」発刊
- 7日 アマゾン民族館企画展
「ニューギニア民族展」開幕・オープニングイベント
- 18日 (財)出羽庄内国際交流財団理事会・評議員会
- 25日 イングリッシュフェア(鶴岡市教育委員会)
- 4月1日 交流サロン「きささこ」オープン
- 19日 国際村日曜日本語教室お花見会(鶴岡公園)
- 5月9日 第一回国際村ハローワールド
「ブータン王国を訪ねて」講師・岡崎利男氏
- 12日 (財)出羽庄内国際交流財団理事会・評議員会
- 19日 斉慧艶国際交流員鶴岡ロータリークラブでスピーチ
- 20日 第1回国際村ワールドクッキング・スリランカ編
- 29日 青年海外協力隊帰国報告会
- 6月13日 出羽庄内国際村ワールドバザール前夜祭
(中国映画上映会)
- 14日 出羽庄内国際村ワールドバザール
(カントリー&ウェスタンコンサート、中国雑技、マジックショー、民族料理の模擬店、国際交流団体紹介コーナーほか)
- 20日 地球交響曲第三番上映会(中央公民館)
(財)出羽庄内国際交流財団共催事業
- 7月1日 瀬木貴将withウーゴ・ファトルーソコンサート
- 1日 庄内空港でアマゾン出張展示(～8/31)
- 2日 世界教育者受入れ事業歓迎レセプション
- 3日 国際村交流会 フレンドシップサロン
テーマ「ブラジル」
- 3日 世界教育者受入れ事業鶴岡市内視察等(～5日)
- 11日 出前国際交流講座
(フィル・ロバーソン国際交流員朝暘第1小へ)
- 19日 イングリッシュフェア(鶴岡市教育委員会)

- 22日 第2回国際村ワールドクッキング・バングラデシュ編
- 26日 第14回庄内国際青年祭(～8/2)歓迎レセプション
- 8月4日 留学生奨学金交付(山形大学農学部4名)
- 6日 第2回国際村ハローワールド
「ドクトルKの地球のステージ」講師・桑山紀彦氏
- 12日 アマゾン子供フェスティバル
(アマゾン民族館館長のお話、アマゾン民族館の見学・アマゾンクイズラリー、ジョゼ・ピニエロ氏によるギター演奏・歌・お話、昼食会)
- 15日 出羽庄内国際音楽祭・山形県国際音楽祭
スール・アグンコンサート(小真木原体育館)
- 23日 鶴岡市平和都市宣言記念行事「平和フェスティバル」
- 9月4日 第2回国際村交流会フレンドシップサロン
テーマ「ギリシア」
- 5日 『ルイズその旅立ち』上映会・監督講演会
- 4.5日 劇団刻一刻・野外ギリシア劇
「姉エレクトラ弟オレステス」上演
- 10日 第50回田川地区中学・高校英語弁論大会
- 26日 かたかごレディーズ10周年記念事業
- 29日 第3回国際村ワールドクッキング・韓国編
- 10月2日 第3回国際村交流会フレンドシップサロン
テーマ「ボランティア」
- 4日 ハード・トゥ・ファインドコンサート
- 17日 外交クラブin庄内
「多文化時代と国際交流・庄内からの発信」
- 24日 出羽庄内国際村祭「ハロウィン」
(ジャック・オ・ランタン作り)
- 26日 ラフォア市から先住部族の館「カズ」が鶴岡市へ寄贈
- 28日 国際協力講演会「大ヒマラヤの麓での森林保全」
- 11月6日 第4回国際村交流会フレンドシップサロン
テーマ「バングラデシュ」
- 12日 ユース・エンディング・ハンガー講演会
「若者は未来を創る力」
講師：ガーナ大学教授サミュエル・セファーデデ氏
- 20日 出前国際交流講座
(フィル国際交流員、斉国際交流員朝暘第5小へ)
- 23日 出羽庄内国際村祭「国際村の感謝祭」
- 12月1日 国際村ワールドクッキング・韓国編第2弾
- 4日 第5回国際村交流会フレンドシップサロン
テーマ「世界のクリスマス」
- 5日 出羽庄内国際村祭「サンタさんとの撮影会・映画会」
- 12日 国際村チャリティーダンスパーティー
- 13日 出羽庄内国際村祭「ハーブのリース作り講座」
- 14日 出羽庄内国際村祭「ワールドファミリークリスマス」



出羽庄内国際音楽祭